

# その いづみの園だより<sup>vol.58</sup>

2013.8.30

夏季号



それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大きいものは愛である。コリントの信徒への手紙Ⅰ13:13

社会福祉法人 九州キリスト教社会福祉事業団  
中津総合ケアセンターいづみの園

## 基本理念

神と人とに仕えるキリスト教の愛と奉仕の精神を基本理念とする

- ①アメニティ(快適主義)
- ②ヒューマニティ(人間主義)
- ③ローカリティ(地域主義)

〒871-0162 大分県中津市永添 2744 TEL0979-23-1616 代

<http://www.izuminosono.jp> E-mail:sogocare@deluxe.ocn.ne.jp

ISO9001認証取得



2002年3月26日  
高齢者介護及び  
リハビリテーションサービス



## レストラン「ペエルシバ」 (就労継続支援A型事業所)

### 「神がわたしに与えてくださった子」



社会福祉法人 九州キリスト教  
社会福祉事業団

理事 東島 勇気

「また、「わたしは神に信頼します」と言い、更にまた、「ここに、わたしと、神がわたしに与えてくださった子らがいます」と言われます」

ヘブライ人への手紙2章13節

九州キリスト教社会事業団のどの施設に行っても、そこに入居されている方々、出入りされている方々は勿論のこと、そこで働いている方々がみんな笑顔で生き生きとされている姿を目にすることが出来ます。そこには互いに神様から生かされた者としての自覚と喜びがあるからです。

この事業団は言うまでもなくキリスト教主義事業団です。富永理事長をはじめ多くの方々が聖書の御言葉に照らして、自らがどうあるべきか問い直し、神と人に仕える働きを日々喜びを持ってなされておられます。聖書の御言葉に生きた人々は「わたしは神を信頼します」と創造主なる神に絶対的信頼を持ちました。それは「神は愛である」ことを絶対的に信頼したということです。

ヘブライ人への手紙の記者はイエス・キリストの言葉として「ここに、わたしと、神がわたしに与えてくださった子らがいます」と紹介しています。イエスは自分と出会った人をみな神様から与えられた大切な人であり、命であると受けとめられたということです。

事業団の中核とも言える「中津総合ケアセンターいづみの園」で働く人はみんな自分たちも含めて、いづみの園に関わりのある人を神様によつて与えられた大切な命として受けとめておられます。だから働く者も、お世話される者も共に生き生きとした笑顔が生まれるのであります。私の亡き母も、「いづみの園」で感謝と喜びの中で人生の終幕を閉じました。これからも多くの人々が輝く生きがいのお手伝いを「いづみの園」がしてくださることを願っています。

在主

# 故多田一二三 前理事長一周忌



在りし日の多田先生

昨年の9月5日に多田一二三前理事長が天に召されて、早や一年を迎えます。私は多田先生の最晩年の4年少しを共に過ごさせて頂きました。

多田先生はいつも私に、次のように言われました。「これからは皆さんの時代ですよ。いすみの園を担っていくのは皆さんですよ、宜しくお願ひしますよ」と。

先生はいすみの園の生みの親の一人として園を愛しておられました。先生ご自身最期の時を園の特養へ入られて、そこを終のすみかとされました。このことがそれをはつきりと物語っています。

今、多くの福祉事業を引き継いだ若い世代の私達も、単なる事業としてではなく、愛し愛されるいすみの園を目指して益々しっかりと歩んで参りたいものです。

(チャブレン 堤 健生 記)

## 2013年度各部の事業計画（主な重点目標）

<b>経営企画室</b>	①「福祉の里づくり・共生型事業」の具体的検討 ②中間管理職講座の実施	<b>ふれんど館</b>	①利用者の安定と稼働の維持 ②業務改善への取組
<b>財務課</b>	①予算統制の充実・強化 ②月次決算の分析、新会計制度の理解	<b>ふれあい館</b>	①経営の安定及び顧客の確保 ②業務改善・安心安全のサービス提供
<b>管理課</b>	①各種手続きの迅速化 ②魅力ある職場づくり	<b>中央サポートセンター</b>	①新規顧客獲得と稼働率の安定 ②ご利用者へのアンケート・良質なサービスの提供
<b>栄養担当</b>	①特養入所者の栄養マネジメント実施 ②新メニューの研究・開発	<b>グループホームペテルハウス</b>	①その人らしさや誇りを持った暮らしを支援 ②楽しみのある生活支援
<b>マリア・ガーデン</b>	①安全で快適な保育 ②保育内容の充実・利用園児の確保	<b>訪問介護課</b>	①新規利用者の獲得 ②スタッフのスキルアップと介護技術の向上
<b>いすみの森</b>	①ご利用者・ご家族への情報発信 ②ご利用者満足度向上の取組	<b>夜間対応型訪問介護</b>	①新規利用者の獲得 ②夜間の安心・安全のサービスの提供
<b>研修センター</b>	①専門職としての研修や介護教室の工夫 ②地域福祉人材の養成	<b>定期巡回随時対応型訪問介護看護</b>	①24時間・365日サービス提供体制の整備とシステムの構築 ②新サービスの理解とマネジメント能力の取得
<b>特養事業部</b>	<b>相談課</b> ①ソーシャルワーク・医療知識の向上による他職種との連携力の強化 ②CS(顧客満足度)アンケート後の課題解決と独自性の追求	<b>訪問看護課</b>	①利用者に安心して選んで頂けるサービスの質の向上 ②利用者のA.D.L・Q.O.Lの向上をめざす
	<b>介護課</b> ①着衣交換率アップ ②ご利用者の健康管理・ご家族との外出支援	<b>地域包括支援センターいすみの園</b>	①自立支援型ケアマネジメントの推進 ②総合相談機能の強化
	<b>看護課</b> ①看取り看護体制の充実(QOD) ②看護の質の向上	<b>シルバーハウジング</b>	①緊急時の対応 ②日常生活の相談助言、地域住民との連携
	<b>リハビリ課</b> ①重度化に対応し、成果を出せる特養への転換(廊下サポート、転倒防止など) ②リハビリ機能を充実し、回復期型ケア・リハビリテーションを研究	<b>介護保険サービスセンター</b>	①地域包括ケアシステムの構築・推進 ②スーパービジョンの確立
<b>医療事業部</b>		<b>デイサービスセンターかきせ</b>	①顧客に選ばれる事業所 ②共生ケアの発展
	<b>クリニックいすみ</b> ①診療の充実 ②医療情報の収集と提供	<b>デイサービスセンター北堀川</b>	①顧客に選ばれる事業所 ②共生ケアの発展
	<b>リハビリセンター</b> ①ADLやIADLの改善 ②退院者(リハビリーション)の施設内受け入れ場所としての機能強化	<b>児童クラブピーター</b>	①共生型空間を活かし豊かな人間育成を目指す。 ②地域と共に子育てサポート
<b>ケアハウス事業部</b>		<b>日中一時支援事業所マルコ</b>	①利用児童の増員・定着 ②安心して過ごせる環境づくり
	<b>ケアマンション聖愛ホーム</b> ①職員の資質向上 ②食事のクオリティーアップ	<b>寄り合いセンターいすみ</b>	①顧客の確保 ②その人らしさや誇りを持った暮らしの支援
<b>障がいサービス事業部</b>		<b>かきぜグループホーム</b>	①安定した経営状況の確保 ②サービスの質の向上
<b>相談支援課</b>	①サービス等利用計画の推進 ②市内関係事業所との連携強化		
<b>就労支援事業課</b>	①円滑な事業のスタート ②将来の事業の総合化を目指した研究		

## 中津総合ケアセンターいすみの園 組織図（2013年7月1日現在）

職員数 357名





# 法人内保育園を訪ねて 番外編 マリアガーデン



(外観)



(天井のステンドグラス)



「マリアガーデン」はいづみの園敷地内の、お客様駐車場の横に2012年4月に開設した木造平屋建ての事業所内保育施設です。

子育て世代の職員が多い「いづみの園」で、安心して子どもを預けられ、今まで以上に一生懸命働いてもらえるようにと建てられた施設です。

現在園児は9名、職員は5名です。園庭には開園を記念した桜の苗木が植えられています。

今日は元気な子供たちの声がしています。

名称…事業所内保育施設 マリアガーデン  
住所…大分県中津市大字永添2744



## ふれあいライブラリー紹介



(研修センタースタッフ)

これからも研修センターは、地域貢献・社会貢献を続けるセンターとして、頑張りたいと思います。  
(研修センター)



「いづみの園研修センター」は、2013年4月組織の機構改革に伴い、それまで総務部研修課として位置付けられていたものが、「研修センター」として一人立ちした部署です。大分県の委託事業である「介護実習・普及センター」の業務を継続しつつ、いづみの園研修センターとして歩みを始めたところです。施設内外の研修はもとより、ボランティア活動の受付、福祉講座の開催、出張介護教室、見学等の受付も行っています。「地域交流ホームいづみ館」の奥に「ふれあいライブラリー」という図書、ビデオコーナーが設置されており、福祉に関する書籍を中心キリスト教の関係文献などたくさんの本やビデオ・DVDがそろっています(書籍2500冊、データ・DVD40本)。一般的にも無料で貸し出しができます(貸出方5ビデオコム)。ご自由にご利用くださいとおもに思っています。

### 人事関係

2013年4月2日以降

#### ①昇格

○7月1日付 堂本 高雄 総務部 次長

#### ②異動

○5月1日付 瀬崎 博司 介護課 介護員  
山中 順子 グループホームペテルハウス 介護員  
加来 直美 いづみの森 介護員  
○6月18日付 渡辺 麻美 訪問介護課 ヘルパー  
○7月8日付 日高ひろみ 介護保険サービスセンター 介護支援専門員  
○8月1日付 西来奈緒美 寄り合いセンターいづみ 介護員  
大神 美春 寄り合いセンターいづみ 介護員  
高西真未子 聖愛ホーム 介護員  
恵良 智美 ふれあい館 看護師

#### ③新採用

○4月8日付 西山有美子 訪問介護課 ヘルパー  
○4月15日付 渡辺 麻美 中央サポートセンター 介護員  
○5月1日付 南 真吾 訪問介護課 ホームヘルパー  
○5月27日付 奥田 悅子 ふれあい館 介護員  
○6月1日付 辛島あすさ 介護課 介護員  
○6月10日付 山田 幸治 財務課 課長  
○6月24日付 五郡美恵子 介護課 介護員  
○7月1日付 彦根ゆかり 中央サポートセンター 介護員  
溝部 信子 介護課 介護員  
○8月1日付 平井 宣道 かきせGHIいちょう 介護員  
志村 明美 介護課 介護員  
○8月16日付 大島加奈美 ワークセンター・シャローム 職業指導員



(以上2013年8月16日まで)

# ひろば いづみの園 広場

## 在宅ご利用者ご家族の声

### コールセンター24時間サービス

橋本淳一様のご家族

橋本 千枝様



父は今年で77歳、母は72歳になります。父が5年前脳梗塞で倒されました。それから肝硬変となり、続けての病で入院と退院を繰り返していました。母も以前大病を患つたこともあります。父が今年5月に退院するまでの2ヶ月ほど、母は毎日父の側に付き添いました。私も姉と毎日父の病院へ顔を見に行っていました。

5月に退院してその日から「いづみの園」コールセンター24時間サービスを利用して頂いています。1日3回の定期巡回と、父のベッドサイドにペンダント型通報器と電話機の所にコール器本体を置き、緊急時にコールセンター24時間サービスのオペレーターさんへ繋がるボタンを設置して頂きました。また1ヶ月に1度、訪問看護師さんに父の健康観察のために訪問して頂いています。

父の対応に母が困った時、通報ボタンを押すと直ぐに職員の方が対応して、自宅訪問してくださいます。

何かあつた時いつでも職員の方たちが駆けつけて頂き、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

私事ですが父と母と一緒に住んでいませんが毎日1回は顔を見に行っています。父も母も以前に比べると表情が明るく、若返った感じがします。毎日職員の方々が話しかけてくれてやはり気持ちも元気になつてくるんですね。

「いづみの園」の全スタッフの皆さん、本当にありがとうございます。今後とも宜しくお願ひ致します。



(ご本人とご両親の近影)

## 在宅ご利用者の声

### 中央サポートセンター

ご利用者 津田 義隆様



私が初めて「中央サポートセンター」にお世話になつたのは去年の7月からです。室内も今年の5月から夫婦一緒に利用させていただいております。なにより嬉しいのは送迎をしていただけることです。車をやめて6年不自由しています。スタッフの方はいつも時間通り安全運転です。それだけでなく花の季節などドライブに誘ってくれます。車の無い私共には楽しいことです。

80歳前後から体力の減退を感じ、最近歩くのが大変になります。ここには各種の運動器具が揃っています。季節、天気に関係なく利用できるので運動不足を解消できます。作業療法士の方がやさしく使い方を指導してくれます。新しいマッサージ機も利用できます。風呂も入れて職員の方がお世話をしてくれます。

2階には各種の趣味活動の場があり、個人の好きなことが出来るのがなによりです。皆さんや職員の方と楽しく利用できます。

他の種々な飲み物サービスもしてくれます。特に昼食には気を配っています。特に昼食には高齢者用に献立や調理に工夫をしてあります。とにかく、スタッフの方の笑顔と誠意に助けられ元気をもらひながら頑張っています。

「いづみの園」の職員の方、主治医の先生および市の職員の方のおかげでここが利用でき、生活に変化と張りがで幸せです。多くの方が施設を利用し有意義な余生を過ごしてもらいたいと思っています。



(2階作業療法室 奥様とりハビリを兼ねた活動)